



## からだを動かす楽しさを！

主任教諭 今村 久美子

朝夕に涼しい秋風が吹き、からだを動かすことが心地よい季節となりました。幼稚園の園庭は工事中ですが、ホールやピロティ、小学校の体育館などを使って、子どもたちはからだを動かして遊ぶことを楽しんでいます。からだを動かす遊びの中で、子どもたちはどんな経験をしているのでしょうか。いくつか紹介します。

### 4歳児もも組

「自分のからだを意識して動かす」…忍者になりきって様々な動きを楽しんでいます。忍び足でそっと歩いたり、走ってからピタッと止まったり、高くジャンプしたり…。楽しみながら様々な動きを経験しています。

「思い切り走る」…広い体育館で、先生を追いかけたり、端から端までまっすぐ走ったりすることを楽しんでいます。回を重ねるたびに、足や手を大きく動かして走れるようになってきています。

### 5歳児ゆり組

「投げる」…玉入れ用の玉を使って、2チームに分かれてそれぞれの陣地に玉を投げ合う遊びをしています。腕や体全体を使って、遠くまで投げる動きを繰り返し経験できるようにしています。

「相手を意識して動く」…“タグラグビー”用の柔らかいラグビーボールを使い、友達とキャッチボールをしたり、鬼につかまらないようにボールを持って走ったりしています。次第に相手が受け取りやすい投げ方や渡し方を工夫したり、相手をよく見て動いたりするようになってきました。

「引っ張る」…新聞紙の“棒”を引き合うゲームをしています。一対一で棒の両端を持ち、自分の陣地まで棒を引っ張っていきます。足を踏ん張り、棒をしっかり握って引っ張ります。真剣勝負です！

幼児期は、一つの種目に絞ることなく、楽しみながら、からだを様々な動きを経験を重ねることが大切とされています。これからも、幼稚園で子どもたちが先生や友達とからだを動かす遊びを楽しむ中で、豊かな運動経験を重ねられるようにしていきたいと思えます。



先生のしっぽをとるぞ！（もも組）



相手陣地に玉を投げるぞ！（ゆり組）



棒を引っ張れ！（ゆり組）